

水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成25年11月9日(土)に開催した「第20回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム ― 森と水を考える集い ―」の内容は次のとおりでした。

名 称	第20回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム ― 森と水を考える集い ―
出席者	県民フォーラムチーム 浜野 安宏、五十嵐 淳一、井上 貞子、坂井 マスミ
開催日時	平成25年11月9日(土) 10:00～15:00
開催場所	[管理釣り場] リヴァスポット早戸 (相模原市緑区鳥屋)
内 容	<p>1 開催趣旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人県民税の超過課税(水源環境保全税)を財源として実施する水源環境保全・再生に係るこれまでの取組・成果及び「第2期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」の取組について、情報提供・発信等を行う。 ○ 従来実施してきた都市部(横浜市等)での県民フォーラム開催に加え、水源地域の現場(森林や川に囲まれた自然豊かな管理釣り場)での普及啓発を展開する。 <p>2 開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) スポーツフィッシングの第一人者によるトークショーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ○ 浜野 安宏 氏(県民会議委員) ○ 杉坂 研治 氏(フライフィッシング・トッププロ) ○ 村田 基 氏(ルアーフィッシング・トッププロ) (2) トッププロによるデモンストレーション (3) 親子毛ばり(テンカラ)釣り体験の実施 (4) 来場者への水源環境保全・再生施策のPR、アンケートの実施 <p>3 開催効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 従来の都市部(横浜市等)での県民フォーラムと異なり、管理釣り場という、森林や川に囲まれた自然豊かな水源地域の現場において普及啓発を展開することにより、新たな対象者に水源環境を守ることの重要性や必要性をPRすることができた。 ○ 多くの釣り人に支持されている著名人が、良い環境の下で釣りを楽しむためには、水の源である森が豊かであることが必要である」とのインパクトのあるメッセージを発信することで、来場者に深い理解・共感を与えた。 ○ 県民会議委員が来場者と直接コミュニケーションを図りながら、アンケートを収集することができた。 <p>4 プログラム・アンケート配布数</p> <p>191名(うちアンケート回収数:64枚)</p>



<トッププロによるトークショー>



<親子毛ばり釣り体験>



<トッププロによるデモンストレーション>



<県民会議委員による水源施策PR>